

第9回ふくろうふれ愛まつり

今年のテーマ 「みんなが手話で話す淡路島」

日時 平成26年10月26日
 内容 10:00~11:00 第1部式典
 11:00~15:00 模擬店販売
 12:30~15:00 第2部 舞台発表



今年のテーマは「みんなが手話で話す淡路島」。障害者基本法の改正や国連障害者の権利条約の我が国での発効を背景に、鳥取県を始め、社会的孤立を克服し、手話で豊かなふれあいの街づくりを全国的に推進されています。当法人もこの運動に賛同し、手話でふれ合い社会連帯を深める出発点としてまつりを企画します。

今年のテーマ「みんなが手話で話す淡路島」を目指すために入居者による手話劇(予定)も計画されています。

8月20日に第1回実行委員会を開催しました。9月からは本格的な準備が始まります。

模擬店では、海鮮鍋やホルモンうどんなど、各地の名産を活かした料理の販売が予定されています。毎年恒例のB級グルメ大会も行いますのでお楽しみにしてください。

最後は、来場者も一緒に阿波踊りを踊って、盛り上がりましょう！

たくさんのご来場をお待ちしております。
 (まつり実行委員会 事務局 谷口・野地)

今年も10体のかかしが来客者をお出迎え！

8月30日に、今年も地域交流会の皆様との協力のもと、10体のかかしを作りました。

「古事記」にも登場する「かかし」。歩かなくても世界が見えたと云われています。

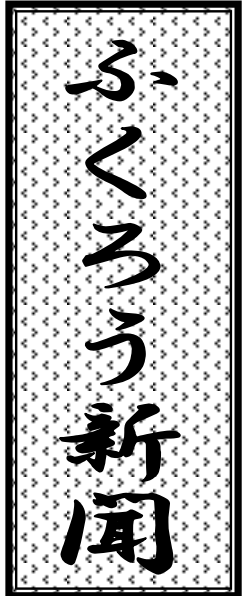
当日はあいにくの雨で、飾ることができませんでしたが、9月3日に、駐車場の坂に10体が並びました。それぞれ個性豊かな飾りで表情も豊かです。

地域交流会の皆様には、前日から竹を切って骨組みを組んでいただきました。約1cmに補足した竹を組み合わせてきれいに骨組みが完成しました。当日は、約2時間かけて入居者も床に座り込んで一生懸命、服を縫い合わせていました。

このかかしは、第9回ふくろうふれ愛まつりで、来場者をお出迎えします。ぜひ、ご来場の際には、かかしにも注目してみてください。



▲地域交流会の皆様と一緒に記念撮影！たくさんのお越しをお待ちしております。



<発行>
 特別養護老人ホーム
 淡路ふくろうの郷
 広報委員
 洲本市中川原町中川原28番地1
 TEL: 0799-25-8550
 FAX: 0799-25-8551
 ホームページ
<http://hyoufuku.main.jp/>
 メール
info@hyoufuku.main.jp

平成26年8月に当法人の理事でもある小林泉氏が所長を務めている、たじま聴覚障害者センターが移転しました。当センターは、県内北部に位置する但馬地域の聴覚障害者の地域生活を支えるためのコミュニケーションの支援や生活相談のほか、コミュニケーションに関する講座を開講しています。

事業内容などの詳細は、兵聴協のホームページ
[\(http://hyogodeaf.com/\)](http://hyogodeaf.com/)をご覧ください。
 六六八〇〇四五
 兵庫県豊岡市城南町二二三の六 豊岡健康福祉センター二階
 たじま聴覚障害者センター 所長小林 泉

備えよ常に！

台風シーズンです。8月上旬は台風11号、12号接近に伴う大雨が続きました。また台風だけでなく竜巻やゲリラ豪雨といった今までにはない異常気象や突然やってくる地震など、入居者をはじめ職員の生活を脅かす災害への不安が数多くあります。

淡路ふくろうの郷では、総務係、生活援助係、医務看護係、栄養調理係と各係を横断的に組織する「防災委員会」を結成、毎月1回の会議と会議後、施設周辺や各ユニットに懐中電灯やヘルメットといった防災グッズはそろっているかを点検するなど、施設の安全管理に努めています。

また入居者と委員以外の職員については、夜間を想定した火災時の避難訓練を2回（うち1回は広域消防署員立会いでの消火訓練）、災害で電気やガスが使えないことを想定しての炊き出し訓練、AED（心肺蘇生等救命）講習を行っています。

今後は、災害発生時の職員個々がどう動くかを確認するような訓練を考えています。このほかにも防災マニュアルの見直しや土嚢づくり、備蓄食糧の確認など、ふくろうの郷の安全を守る取り組みを活かして、地域の安全拠点となるような取り組みへと広がっていきたいと考えています。

(防災委員会)

医療費無料化 中3まで 願う

洲本市では今年7月より中学3年生までのこどもの入院費が無料になりましたが、通院費は小学6年生までに留まっています。兵庫県下では、南あわじ市を含む24市町で入院費・通院費ともに中学3年生までの無料化が実現しています。（所得制限あり）少子化対策、子育て支援にとって、こどもの医療費の無料化は大きな力になります。洲本市でも所得に関係なく中学3年生までのこどもの通院費無料化が実現するよう、「こどもの医療費無料化を求める会」の呼びかけで署名活動が行われており、当ひようご聴覚障害者福祉事業協会ではこの取り組みを応援しています。



▲崖崩れの心配のあった裏山の工事も終わりました

ボランティアの声

8月前半をふくろうの郷で過ごされたお二人からの感想を掲載します。

ボランティアで愛知県立名古屋聾学校専攻科学生赤堀真結さんの感想です。（5～17日）

体験してみて大変だった事はおむつ交換や食事の介助でした。おじいちゃん、おばあちゃんと話をする事で相手が求めているのは何か？を考え、状況に合わせて相手と会話のキャッチボールをすることが出来ておじいちゃん、おばあちゃんがとても嬉しい顔を見せてくれた時が一番嬉しかったです。私でもお年寄りの役に立つことが出来るんだと感じました。人を笑顔にさせてあげることができてうれしかったです。また、お年寄りに気持ち良く納得していただくことも難しかったです。一人一人性格がそれぞれなので、その人に合わせた話をしないと難しいなと思いました。おのころの家（就労継続支援B型）と一緒に箱を折る作業をしたり、布をぬう作業もしました。そこでも、たくさんお話が出来て良かったです。ふくろうの郷のスタッフさんも優しく、また健聴者と聾者が話すときは、手話が中心でもとても温かくてすごく分かりやすかったです。一人一人がすごく親切で人の暖かさを味わいました。ふくろうの郷にボランティアに来て良かったです。2週間という短い間でしたがとても良い学習が出来ました。また、春休みなど機会があったら来たいです。本当にありがとうございました。

(赤堀真結)



▲入居者と打ち解け合う
赤堀さん(左)

花ユニットの新しい仲間 谷口道子様 (81歳)



▲手芸講座で金魚を作る谷口様

谷口道子様は、7月25日に花ユニットに長期入所されました。先天性のろうあ者で81歳です。京都で妹様と2人暮らしされていましたが、妹様が体調を崩し入院されました。1人暮らしは難しいので、京都府綾部市にあるいこいの村梅の木寮のショートステイを利用されました。いこいの村の長期入居の部屋は空きがないため、ふくろうの郷に相談が来しました。

互いに久しぶりの再会を喜びました。

手芸や縫い物が好きで、いつも居室で何かを作られています。訪室する度に作った物を嬉しそうに見せて下さいます。

8月21日の手芸講座に参加され、ちりめんの金魚を作り、嬉しそうに見せてくれました。また9月の手芸講座も楽しみにされています。

ユニットではおしぼり作りを自分の役割だと思つて頑張つて作つて下さっています。毎日楽しそうに過ごされています。

(生活支援係：田中利香)

【谷口様のコメント】

京都からこちらに来て、友だちもまだ少ないですが、これから皆と一緒に外出したり、勉強したいと思います。

今は部屋で手芸や編み物を楽しんでいます。

実習生の声

法的権利の視点で

8月4~6日を過ごされた実習生、長岐和恵さんの感想です。

3日間にわたり貴重な経験をさせていただき、ありがとうございます。手話が分からず会話に入つていけないときは、もどかしさや寂しさを感しながら、ろうや難聴の人は健聴の人たちと話している時にこのような気持ちになる

(司法修習生 長岐和恵)

♪手作り枝豆頂きました～♪

— 柳学園中学生 —



柳学園中学校が、授業で枝豆を作り、ふくろうの郷に寄付して頂きました。ありがとうございます。

のかなあなどとも考えておりました。

ふくろうの郷では利用者の方と交流することができて、利用者の方々のとびきりの笑顔に癒されました。

特に竹邊さんのお話を伺うことができてよかったです。精神病院に閉じ込められ長い間自由を奪われた経験を聞き、障がい者の権利について考え直すことができました。このようなくことを二度と起こさないよう、私にできること模索していきたいです。

この経験を生かし、法律の勉強だけではなく、手話もたくさん練習して、聴覚障がいをもつ方たちの役に立てる弁護士となれるよう頑張つていきます。情報保障の問題や権利条約に関する問題などについて、私としても考えを深めた上で、行動に移していけたらと思います。まだまだ未熟ですが、今度お会いする時には成長した姿をお見せできるよう励んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

**淡路聴覚障害者
センター** 便り

洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3階

手話が言語に。合理的配慮も盛り込まれ...

午前、午後にはわたって日本障害者協議会代表の藤井克徳氏の講演がありました。まず、国連で障害者権利

条約が誕生するまでには、戦争や人種差別など60年間の人権問題の蓄積の上に2006年、やっと成立したこと、さらに日本で批准されるまで7年間も要したのは、藤井氏はじめ民間団体が、条約レベルにあった国内の制度改革をしようえでの批准を求め、結果、障害者基本法の改正や差別解消法の成立、また手話が言語、合理的配慮などたくさん成果が盛り込まれるなど内容的にも誇れるものとなったとのお話がありました。

「他の者との平等を基礎と

条約の基本となるのが、「他の者との平等を基礎と

して」の考え方です。障害者は「障害者だから」「どうせダメだから」と長い間我慢してきました。特別の権利は要求していません。ただ普通の市民の暮らしぶりと比較して同レベル、すなわち0地点まで引き上げよう、そのために障害者を取り巻いている社会の壁を取り除こう、普通の暮らしができる配慮をしてほしいということです。

**129人の参加で
障害者権利条約は新しい
スタート、共に学び、条
例に魂を吹き込もう**

ひょうご聴障ネット夏の学習会
～ 神戸市勤労会館 8.24 ～
淡路からは15人が参加

災害時障害者死亡率2倍

日本は先進国の中では、総予算の中での障害者施策の占める割合は最下位という貧しさです。その貧しさが東日本大震災で障害者死亡率

第3回社会生活教室
日常生活用具について
8月13日

(有)千里福祉情報センターの水野 慎吾氏による日常生活用具給付についての学習会でした。当日は各市会議員の方、また市福祉課職員の参加もありました。今回の講演を聞いて、参加者の議員からも今の暮らしをより豊かに、安心した生活が送れるように今後も応援していきたい。また、市議会において「手話言語条例」について取り組みの必要も感じ共に頑張っていきたいとの感想を述べられました。

運動が酸素、栄養となる。

が2倍となって顔を表しました。条約が批准されただけでは意味がありません。一人一人が暮らす市の福祉施策が拡充し、選択できるほどの福祉サービスを作っていくことが大事になります。

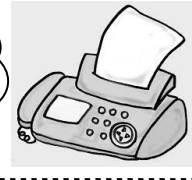
条約に魂を吹き込み、生活を豊かにしていくためには、仲間と繋がりがあ、条約について語り合い、行政、一般市民など社会の隅々にまで広げていくことが大事です。淡路でもろう協や手話サークルが手話言語法の請願運動に取り組んでいるところ。大事なことは自治体での手話言語条例制定の取り組みにも繋げていくことも期



テレビ電話があったら便利。申請できる市もあるの？



家族に健聴者がいたら申請できないのはおかしい



待されます。手話を広げればいいというものではなく、条約に沿った個人の尊厳と生活が豊かになる内容を盛り込んでいきましょう。例えば毎年開催されている耳の日集いなど様々な機会に「みんなが手話で話す島」のテーマを掲げ、多くの市民に理解をすすめる取り組みにも繋げていきたいと希望が湧く学習会でした。(辻)

**要約筆記者養成講座
パソコン要約筆記前期コース**

～受講者募集～

一緒に学びませんか？

H26年11月8日
H27年3月28日

隔週土曜日 10時～15時

場所 洲本市健康福祉館

受講料 5,000円

申込締切 10月24日(金)

定員 15名

お問い合わせはセンターまで



**三洋エナジー南淡(株) 津名工場
手話講習会**

当社は昨年度より従業員を対象に手話講習会を開催しています。目的はろう者とコミュニケーションをとることであり、名前などの基本から会社の場面を想定した内容を中心に学んでいます。また、手話だけでなくろう者の日常生活を聞くことによりろう者に対しての理解が深まった。これからもより多くの方に学んで頂くよう社内での推進を図りますと主催者の会社からコメントをいただきました。

→社内と一緒に働くろう者が講師。今年入社され指導にあたる原さん





▲箱の折り方を学生さんたちに実演して伝える利用者の巖さん

おのころの仲間の指導のもと、「事故防止の帽子」を作ってもらい、可愛い帽子がたくさん仕上がりました。また、線香の箱折りやあじろバッグの組立てなど、おのころの家の仲間と交流しながら作業をしてもらいました。自己紹介をしたり少しは手話を覚えてもらえたかと思えます。中川原町なので洲本市市街からはちょっと離れてはいるけれど、気軽に遊びに来てほしいです。

(担当:藤本)

作業を通じて
サマーボランティアと
特別支援学校の実習

おのころの家



〒656-0002

洲本市中川原町中川原 222-2
中川原ふれあいセンター内
TEL・FAX 0799-28-0995



▲お盆前で線香の箱折りを手伝ってもらいました

8月11日、今年もサマーボランティアに3名の高校生が来ていただきました。特別支援学校の実習とも重なり5名の若いパワーが集まりました。

おのころの仲間の指導のもと、「事故防止の帽子」を作ってもらい、可愛い帽子がたくさん仕上がりました。また、線香の箱折りやあじろバッグの組立てなど、おのころの家の仲間と交流しながら作業をしてもらいました。自己紹介をしたり少しは手話を覚えてもらえたかと思えます。中川原町なので洲本市市街からはちょっと離れてはいるけれど、気軽に遊びに来てほしいです。

8月27日、日中の残暑が厳しい中にも、時折秋風が吹き込む中、おのころの家とデイサービスセンター桜ヶ丘の利用者様との交流を目的に野外バーベキューを開催しました。焼き上がりのお肉や野菜を前に、おのころの家の古山初子様はデイサービスの御利用者の、後しめの様に「歳はいくつや？」後様はしめ飾りの表現に両手手のひらを9回前に出し「90歳や」と表現され、古山様から「元氣や！」と手話や身振りで会話が弾んでいました。また、デイサービスのご利用者の大澤幸雄様は「いつもこんだけの人が中学校に来るとるんか？多いの」と。日ごろは、おのころの家とデイサービスセンターの居室をパーテーションで区切り生活していますが、この

「歳はいくつや？」「90歳!!」
野外バーベキューで交流

デイサービスセンター 桜ヶ丘



▲右からデイサービス利用者の大澤様、後様、おのころの家利用者の古山様

日はお互いの顔を見ながら、会話や食事を楽しまれていました。今後は、おのころの家とデイサービスの交流に留まらず、地域の皆様にも参加を呼びかけ交流をしていきたいと思えます。

(担当:鈴川)

お問い合わせ先 デイサービスセンター桜ヶ丘

住所:洲本市中川原町中川原 222-2

TEL : 0799-28-0993

FAX : 0799-28-0992

受付時間:

平日 8:30~17:30 (土日祝休み)

担当:竹内

この夏は、海へ!
そしてバーベキュー!
保育所の子どもたちと夏まつり!



お一人お一人のやりたいことを
取り入れた内容で行っております。

続々・地域を語る

中川原むかし話

かるた 口説き

No.2

北岡 肇

448(あ) 淡路富士、先山の高さ メートル

淡路ふくろうの郷の玄関から西方にあつて、四季折々朝日、夕日の稜線の美しい光景が眺められ、瀬戸内海国立公園となつています。淡路島では論鶴羽山(608メートル)について2番目に高い山で、淡路百景の中の名所となつています。伊弉諾・伊弉冉2神が最初に作つたところから「先山」と名付けられ、日本最初峰と言います。記紀、神話、伝説による説明は省略いたします。

太古よりの姿で、地質は花崗岩よりできています。先山から南北に100メートル前後の山が連なっています。尾根は大坂湾の海底まで続いています。

先山は、ピラミッド状の山形をもつて突き出し、富士山に似ていることから「淡路富士」と呼ばれ淡路の人々から親しまれています。

山頂には、七堂伽藍の「千光寺」(淡路西国第一番)があつて、信仰の山として参詣者が絶えることがありません。

山頂から裾にかけ、東西南北に円く約32ヘクタールが宗教学法人・寺僧の山林、杉、桧の古木が林立しているが台風の影響を受け名残りをのこしている。古きより「椎の木先山」の名がある通り、老樹密生して、森になれば椎の実を拾いにくる人も多く、450キロも拾つて販売したとか。

また茶店で名物として焚つて売つていたが今ではヨーカンとアンコロモチだけ。

頂上への登山道は左図のとおり、6年全淡自動車会社が県道洲本から安坂を経て運転していたが、廃止となり、今は乗用車のみ通行。



柳学園・中川原保育所 と手話交流会

8月20日、柳学園の高校生が先生役になつて手話や指文字を中川原保育所の園児に教える手話交流会をふれあいセンターで行いました。

当日は園児23名(年長児)と先生役の柳生徒5名と、一緒にピザ作りをしたり、自分の名前を手話や指文字で表現できるように教

えてもらい、おのころの家のろう者の方たちとも交流ができました。

園児からは練習していた手話を使った歌を披露してもらいました。



▲暑い中でも元気いっぱいの子どもたち

ふくろうふれ愛まつり ボランティア募集

日時 10月26日(日) 10:00~15:00
(説明のために9時集合になります)

場所 淡路ふくろうの郷
中川原高齢者・障害者地域ふれあいセンター
毎年恒例のふくろうふれ愛まつりが今年も行われます。当日お手伝いに来ていただけるボランティアを募集しています。わたしたちと一緒に楽しみませんか!!

ボランティア内容

- ・会場の準備(舞台の準備など)
- ・着ぐるみを着て施設内を歩きまわる(子ども大好きな人歓迎します)
- ・入居者の付き添い(一緒に食事をしながら交流できます)

8月19日絵手紙講座

「大地のめぐみ 元気のもと」
吉見輝子様(79歳)



作品紹介

いつもご支援ありがとうございます

震災がきっかけで声が出なくなり、長い間苦労したけれども今は出るようになった女性が、少しでも他の方の役に立ちたいと、ろうあ者への寄付を思い立って神戸市兵庫区の社会福祉協議会へ物品をお持ちになったものです。

温かいお気持ちありがとうございます。

